

# 「実感できる学び」のために

つかむ(10分)

## 1. 「めあて」をもとう

○「課題」を持たせ、「めあて」を作る

- ・「めあて」は児童と考える
- ・課題追究型の「めあて」にする

今日はこの勉強をするのか。

## 2. 「見通し」をもとう

○既習内容から、解決の見通し(てがかり)をもつ

- ・自分の考えをノートに書かせる

どうしたらいいんだろう。

## 3. 自分で解いてみよう

○「見通し」をもとに、自分で解いてみる

- ・力のある児童には、多様な考え方を出させる

こうすればいいのかなあ。

## 4. ともだちと相談しよう

○自分の考えをもとに、課題解決の学び合いをする

- ・何のための話合いかを明確にする
- ・自分の考えを整理する、広げる、意見を参考にする

こんなふうに考えたんだけど。

## 5. みんなで話し合おう

○課題解決の結果を発表し、全体で考える

- ・共通点や相違点を類型化してまとめる
- ・「キーワード」を板書し、まとめや振り返りをしやすくする

そうやればいいんだ!

## 6. 「まとめ」をしよう

○「めあて」に対する答えをまとめる

- ・全体での話合いの「キーワード」と児童の言葉を使って「まとめ」をつくる

今日はこんなことがわかったよ。

## 7. 問題を解いてみよう

○学習したことを使って、問題を解く

- ・教科書、スキル、「評価資料集」などを活用する
- ・できたという実感を味合わせる

できた! わかった!

## 8. 「ふりかえり」をしよう

○学習内容を振り返り、学習の成果や課題、次時への意識を持つ

- ・観点 ①自分でわかったこと、気がついたこと  
②友達の意見で参考になったこと  
③次の時間に考えてみたいこと、やってみみたいこと

うれしいな! 次はこれをしてみたいな!

追究する・深める(20分)

まとめる(15分)